

2025年11月17日

瀬戸市議会議長
富田 宗一様

水道料金値上げ中止を求める会

瀬戸市
瀬戸市

紹介議員 坂井 寿美
新井 亜由美
原 誠

市民の理解なく水道料金の値上げをしないよう求める請願

長引く物価高騰が市民の暮らしに大きな影響を与え、特に低所得者世帯の暮らしはひっ迫しています。2025年4月からすでに下水道料金が値上げされ、利用者は平均34%の負担増となっています。市は水道料金を平均42%値上げする経過措置として2026年4月、まず約25%を引き上げ、2年後の2028年4月にはさらに17%引き上げていく計画です。

水道料金の値上げ幅は、使用量によって大きく異なります。市民の4割以上におよぶ基本水量使用の方々は、値上げ幅が60%～80%にもおよび、現在の2255円(2ヶ月)から値上げ後は4059円(2ヶ月)となる場合もあります。水道は、なくてはならないライフラインの一つであり、地域の公衆衛生にも影響します。物価が上がり続ける中での料金改定は実施すべきではないと考えます。そもそも、古くなった水道管の敷設更新に係る費用をすべて水道料金でまかなう仕組みは問題です。企業債を適切に発行するなど綿密な経営プランを立て市民負担を極力抑える必要があると考えます。

請願項目

1. 物価高騰で困窮する市民の暮らしに寄り添い、今回の値上げは見送ること
2. 企業債の適切な発行等を活用し、水道老朽管の更新を進めること
3. 今後値上げを必要とする場合は、市民対象に十分な説明会を開催し、市民意見を考慮して値上げ幅を極力抑えること

